

文化推進審議会 注目事業集



注目事業一覧

重点取組項目	施策の方向性	No.	事業名	評価票NO	担当課・施設名
① 全てのライフステージに文化が行き届く文化政策の推進	(1) 誰もが文化を身近に楽しめる仕組みづくり	①	さくらまつり開催支援	1	市民参画課
	(2) 文化活動を通じた地域のつながりづくり	②	芦屋で暮らした人々	48	市民センター
	(3) ユニバーサル社会づくりを目指した生涯学習活動の振興	③	芦屋市障がい児・者作品展	80	障害福祉課
	(4) 文化ゾーンの活性化, 各種施設の有効活用	④	n i w a - d o k u	90	図書館 生涯学習課
	(5) 文化芸術を行う団体への支援	⑤	夢ステージ	100	市民センター
	(6) 文化に関する情報発信の強化	⑥	Facebook・Instagramによる魅力発信事業	101	広報国際交流課
② 未来を切り拓く子どもたちへ向けた文化政策の推進	(1) 豊かな情操を育む体験活動の推進	⑦	子ども対象文化財関連事業	109	生涯学習課
	(2) 地域社会とのつながりによる文化体験	⑧	あしやキッズスクエア	111	青少年育成課
	(3) 親子に向けた積極的な情報発信	⑨	わくわく子育てアプリ	116	子育て推進課
③ 芦屋文化を生かした戦略的なまちづくり	(1) 暮らしに根ざした文化交流のまちづくり	⑩	交差するアーティストたち -戦後の関西-	126	生涯学習課
	(2) 芦屋らしい良好な住まい・景観づくり	⑪	芦屋オープンガーデン	131	公園緑地課
	(3) 読書のまちづくりの推進	⑫	こどもおはなしの会	137	図書館
	(4) 文化を通じたまちの魅力の一体的な発信	⑬	シティプロモーション事業	144~ 148	政策推進課

1

さくらまつり開催支援 (市民参画課)

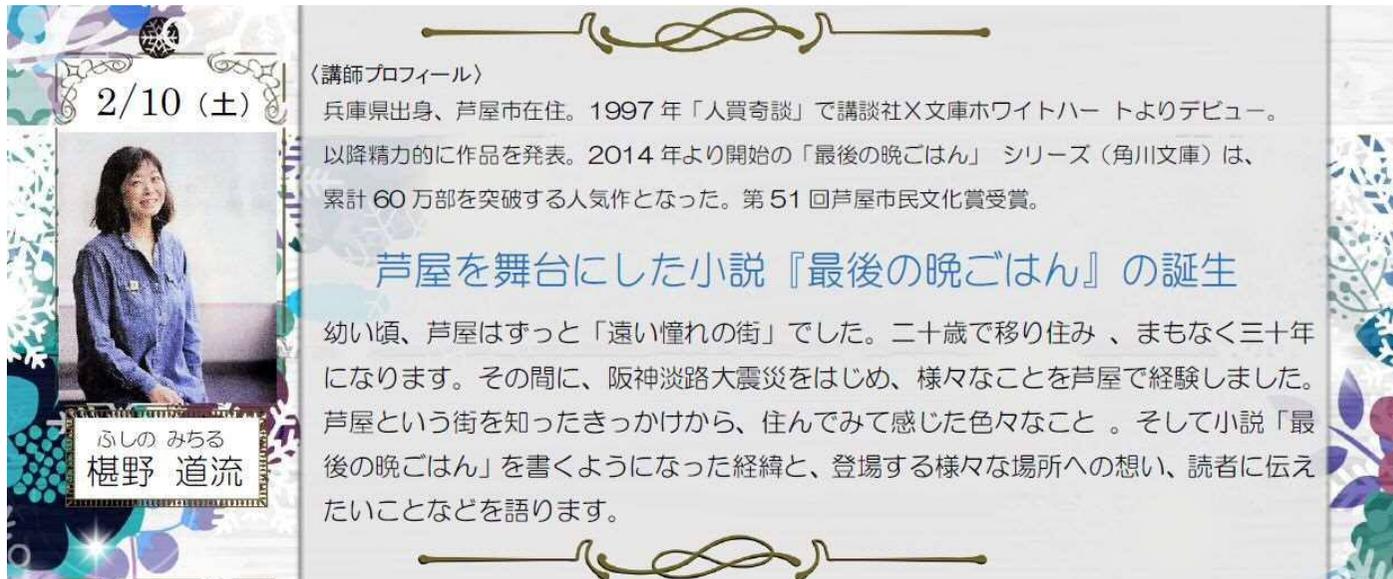


◎毎年4月に芦屋川沿いで実施

◎平成29年度の参加者は15,500人
(平成28年度の参加者は16,500人)

2

芦屋で暮らした人々（市民センター）



2/10 (土)

ふしのみちる
榎野 道流

〈講師プロフィール〉
兵庫県出身、芦屋市在住。1997年「人買奇談」で講談社X文庫ホワイトハートよりデビュー。以降精力的に作品を発表。2014年より開始の「最後の晩ごはん」シリーズ（角川文庫）は、累計60万部を突破する人気作となった。第51回芦屋市民文化賞受賞。

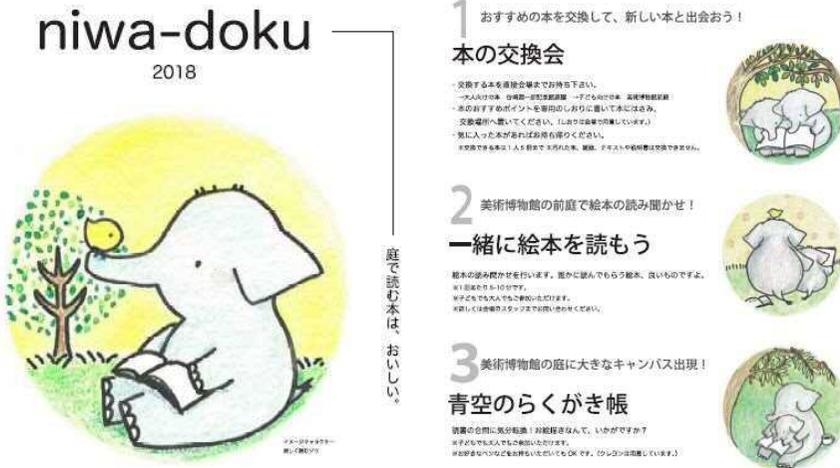
芦屋を舞台にした小説『最後の晩ごはん』の誕生

幼い頃、芦屋はずっと「遠い憧れの街」でした。二十歳で移り住み、まもなく三十年になります。その間に、阪神淡路大震災をはじめ、様々なことを芦屋で経験しました。芦屋という街を知ったきっかけから、住んでみて感じた色々なこと。そして小説「最後の晩ごはん」を書くようになった経緯と、登場する様々な場所への想い、読者に伝えたいことなどを語ります。

（榎野道流氏の講演）

- ◎芦屋に縁のあるゲストをお招きし、芦屋との関わりを交えながら歴史や文化について講演いただく。
- ◎身近な芦屋を題材にすることで、文化を身近に楽しめるきっかけ作りとしている平成28年度より実施している。

4 niwa-doku (図書館・生涯学習課)



(案内チラシ)



(イメージ写真)

◎芦屋市文化ゾーンの三館の連携により, 美術博物館・谷崎潤一郎記念館の庭で読書を楽しむイベントを実施。

◎平成29年11月4日(土)開催 参加者:約560名

5 夢ステージ (市民センター)



(案内チラシ)



(能楽種まき大作戦)

◎市民の新鮮な発想を舞台芸術活動に活かす「文化プロデューサー」育成のため、ルナ・ホールを舞台に企画・公演の機会を提供し、市民が自らが文化芸術を行う機会の充実を図る。

◎29年度採用:「能楽種まき大作戦」(能楽ワークショップと「船弁慶」の上演)